

日本のひなた宮崎 国スポ串間市宿泊基本計画

1 趣旨

日本のひなた宮崎 国スポに参加する選手、監督、役員、視察員、報道員その他の関係者(以下「大会参加者」という。)を温かくお迎えするため、「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宿泊基本計画」及び「日本のひなた宮崎 国スポ串間市開催推進総合計画」に基づき、宿泊施設その他関係機関と連携を図りながら、十分に休養できる快適な環境づくりに配慮した体制を確立する。

2 内容

(1) 宿泊

ア 大会参加者の宿泊施設は、原則として市内の旅館等(旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。)とする。

イ 市内の旅館等だけで大会参加者を収容することが困難な場合は、県、関係機関、関係団体等と協議のうえ、公共施設等や近隣自治体の旅館等を利用する。

ウ 風紀上、衛生上又は安全対策上支障があると認められた宿泊施設は利用しない。

(2) 配宿

ア 選手、監督及び競技会に関わる役員の配宿は、競技会場や練習会場までの交通状況等を考慮し、大会運営に支障のないよう留意して行う。

イ 選手及び監督の配宿は、都道府県別、競技別、競技種別及び男女別を考慮する。

ウ 役員、視察員、報道員、その他の関係者の宿泊施設は、原則として選手及び監督とは別の宿泊施設とする。

エ 大会参加者を近隣自治体の旅館等に配宿する場合は、県と協議して行う。

(3) 宿泊料金

大会参加者の宿泊料金は、県及び旅館等の関係団体との協議を経て、公益財団法人日本スポーツ協会において決定されたものを適用する。

(4) 食事

大会参加者に提供する食事は、衛生面や栄養バランスを考慮するとともに、地元の様々な食材を取り入れた郷土色豊かなものとする。